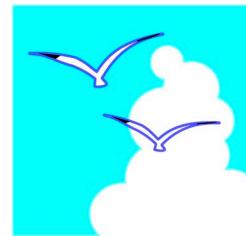


新闻话语 《普天间基地問題》

八月，驻日美军普天间基地的迁移问题将要到达一个紧要关头。我们在此想探究一下其背景。



冲绳县位于日本南端，是深受人们喜爱的旅游胜地。然而，在占其总面积 18% 的土地上，却设置了 30 多个美军基地，据说占全日本美军基地的 75%。那么，美军为什么会在日本设置基地呢？60 年前，日本与美国签订了《日美安全保障条约》（1951 年），在条约中，日本和美国约定“美国向日本提供安全保护的同时，在日本设置军事基地”。

美军基地之所以多集中在冲绳县，还要进一步追溯其历史渊源。1945 年，日本第二次世界大战战败。对于日本来说成为最终战场的冲绳，那里的人民付出了巨大的生命代价。战后的日本被美国占领，于 1952 年恢复主权，然而冲绳县一直到 1972 年才回归日本。



本，在此期间美国一直占据冲绳，并设置了大量的军事基地。这是因为冲绳的地理位置决定了它在战略上的重要地位。美苏冷战时期，以美国为中心、和以苏联、中国为中心的两大势力集团分庭对峙，如果在冲绳有军事基地的话，美国就可以藉此来威慑及覆盖中国及东南亚各国。1960 年越南战争爆发时，美国支持

ニュースのことば 「普天間基地問題」

8 月に再び山場を迎えるといわれている普天間基地の移設問題。今回はその背景を探ってみます。

南国の観光地として人気のある沖縄県ですが、沖縄には全体の 18% を占める面積に、アメリカ軍の基地施設が 30箇所余り置かれています。これは日本にある米軍基地の 75% に当たるそうです。そもそも何故日本にアメリカの基地があるのでしょ。実は 60 年前、日本はアメリカとの間で「日米安全保障条約」（1951 年）を結びました。これは「アメリカは日本を守る代わりに、日本にアメリカの基地を置いてもいい」という約束です。

沖縄に多くの基地がある理由をお話しするには、さらに歴史を遡らなければなりません。1945 年、日本は第二次世界大戦に敗れました。日本にとって最後の決戦場となった沖縄で多くの住民が戦死した悲劇は、よく知られています。戦後日本はアメリカの占領下に置かれ、1952 年に主権を回復しました。けれど沖縄だけは、1972 年に返還されるまで占領されたままでした。この間アメリカはたくさんの基地を作りました。沖縄が戦略上重要な地域にあったためです。かつて米ソ冷戦時代といわれた頃、世界はアメリカを中心とした勢力と当時のソ連や中国を中心とした勢力に分かれて対立していました。沖縄に基地があれば、中国、東南アジアの国々等とても広い範囲をカバーできたのです。1960 年ベトナム戦争が起こった時、アメリカは南ベトナムを応援し、沖縄は米軍の

的是南越，那时，冲绳作为美军士兵及物资的运输补给基地，发挥了很大的作用。

此次因人关注的普天间基地，是美国的海军陆战队基地。当外国发生战争或纠纷时，它可以率先抵达烽火前线。由于过去多从海上登陆作战，因而得名；现在主要采用通过直升机或飞机空降登陆。普天间基地位于宜野湾市的市区，周围是普通的居民住宅和学校。从早到晚，飞机和直升机不停地起降，其噪音使周围居民苦不堪言。同时，基地士兵引起的犯罪问题，也成为一个社会问题。15 年前美军士兵强暴小学女生事件，引发了居民要求减少冲绳美军基地的运动；6 年前美军直升机在冲绳国际大学校园内坠毁，更使居民们对市区内的美军基地心怀惶恐。从此日美之间就迁移普天间基地问题展开了漫长的谈判。日美终于达成协议，决意到 2007 年在冲绳东北部、名护市美军施瓦布军营沿岸（边野古地区）填海造地，将普天间基地迁至于此。但是还不等计划实施，去年夏天政权交替，日本政府又提出“在冲绳县外或国外寻找迁移地点”的方针，据说是基于减少冲绳县民负担的想法。然而市民们的想法是，“边野古海域生长着美丽的珊瑚礁，又是稀有贵重生物儒艮的栖息地，对这里的自然环境应予保护”，于是反迁移运动不断高涨。寻找新的迁移地点并不那么容易，要与美国政府达成协议更加困难。曾经提出的、将部分军事训练项目迁到鹿儿岛县德之岛进行的提议，也遭到德之岛居民的强烈抗议。不知所向的谈判持续了一段时间后，又回到了接近

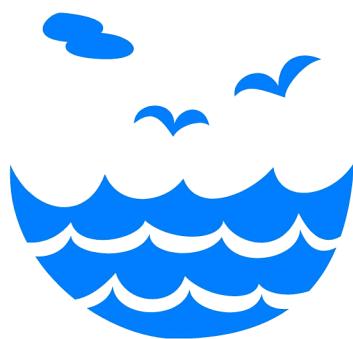
兵隊や物資を輸送する補給基地の役割を果しました。

今回話題の普天間基地は、海兵隊の基地です。海兵隊は、海外で紛争や戦争が起きた時、真っ先に突入する部隊です。昔は海から上陸することが多かったので、海兵隊と呼ばれていますが、現在ではヘリコプターや飛行機で降下するそうです。普天間基地は、宜野湾市の町の中にあって、住宅や学校に囲まれています。朝から夜まで飛行機やヘリコプターの離発着が繰り返され、住民は騒音に悩んでいます。さらに、兵隊が起こす犯罪も問題になっています。15 年前小学生の女の子が米兵に暴行される事件が起きたのをきっかけに、沖縄の基地を減らそうという住民運動が起きました。また、6 年前には沖縄国際大学にヘリコプターが墜落し、町の中に基地があることの怖さを住民の心に刻み込みました。そこで普天間基地を他の場所に移そうと、日米間で長く交渉が行われてきました。その結果 2007 年までに、沖縄の北東、名護市にある米軍基地キャンプシュワブ近くの海辺（边野古地区）を埋め立てて、そこに移設する方向で合意しました。しかし、なかなか計画が進行しないうちに、昨年夏の政権交代後、政府は「移設先は沖縄ではなく県外や国外で探す」と方針を転換しました。その根底には、沖縄県民の負担を軽減したいという想いがあったといわれています。「辺野古は珊瑚礁の美しい地域で、世界的にも貴重な生き物であるジユゴンの生育地域だから、環境を守るべきだ」という住民の反対運動も高まりました。しかし、新たな移設先を探すこと

原方案的迁移到边野古。据说边野古基地的施工方案将在 8 月底决定。但是，在全冲绳县不断高涨的抗议中，计划能否实施前途叵测。

争议的焦点之一是军事抑制力问题。军事抑制力是指压制别国入侵的力量，也就是使入侵者“在进攻日本进之前就会预料到一旦本土遭到反击，将会付出怎样的代价，于是放弃进攻”的力量。日本的军事抑制力大多依赖于武器装备齐全的美军。有人认为：为了保持这种军事抑制力，就必须让美军基地留在冲绳。另一方面意见则认为：普天间基地的海军陆战队，是用来登陆他国的作战部队，无法成为日本的军事抑制力。

普天间基地迁移问题目前还看不到出口，今后还会通过传媒等手段就减轻冲绳负担和保障日本安全等问题进行进一步的探讨。这个问题可以说是关系到日本子孙万代的重大问题。（H）



は容易ではありません。アメリカの理解をえることも困難な状況でした。一部の訓練機能を移したいと相談した鹿児島県とくのしま徳之島でも反対運動が起きました。迷走が続く中、結局最後は日米政府間で、原案に近い辺野古への移設案で決着したのです。8月末には辺野古の基地の工法を決定するそうです。しかし、沖縄全体で反対の気運が高まっているため、現実に移設できるのかどうか不透明だといわれています。

争点の一つとなっているのが抑止力という問題です。抑止力というのは、他の国から攻撃されるのを抑えて止める力で、「もし日本を攻めたら、反撃されて自国に大きな被害が出るので、日本を攻めるのは止めよう」と他の国に思わせる力のことです。日本はこの抑止力のかなりの部分を、たくさん武器を持っているアメリカに頼っているのです。その抑止力を保つためにはアメリカ軍の基地を沖縄に置いておくべきだという根強い意見があります。その一方で、普天間基地の海兵隊は、海外に切り込む部隊で、日本を守るといった場合、抑止力にならないのではないかという疑問の声も聞こえます。

普天間基地移設は、未だに出口の見えない問題ですが、沖縄の負担軽減の問題とともに、日本の安全保障の問題を未来に向かってどう展望していくのか、今後マスコミなどで議論が盛んになることでしょう。子どもたちの未来にとっても重要な問題ですね。（H）